

令和 5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	NPO 法人 神奈川フードバンク・プラス		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	生活困窮世帯に対する食品支援拡大事業		
事業の目的	ひとり親家庭、一人暮らし高齢者等、生活困窮世帯に対して、食品の提供及び生活支援に関する事業を行い食品ロス削減活動を通じて地域社会の福祉増進に寄与することを目的としている		
事業概要	<p>現在、公営団地3ヶ所（県営かもめ団地、津久井浜団地、走水団地）で一人暮らし高齢者へ隔月1回、食品支援活動を行っているが、①今後は3団地での対象者拡大、拡充（各団地の対象世帯65～70）を図るとともに②新規に市営金堀アパートにおいても高齢者への食品支援を始めた。また③三浦市、逗子市社協、横須賀市北下浦地区社協においても高齢者への食品支援の実施、拡充（各30名前後）を図っている。④ひとり親家庭については、母子福祉会等3団体に対して、毎月1回の食品支援を行っている。</p> <p>最近の物価高によりメール、電話等での食品支援を依頼してくるが、各々の生活状況を確認する中で支援を行っている。</p>		
成果や課題	企業、行政からの食品提供も年間35トン程度あり前年より増えており、配布数量も月当たり600世帯に3トン弱を配っている。		
今後の展望	まだまだ困窮世帯は拡大傾向が続いて行く。新規対象世帯の発掘と新規市営アパートでの配布会を実施していく。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			